

第2号  
平成23年9月

# かなざわ通信

## <金沢病院理念>

患者様、ご家族がいつも安心して利用することができる病院を目指します。

## “地域密着”とは言うけれど…

当院は来年で60周年を迎える事となりました。ここまで来れましたのも、地域周辺の皆さまのご支援のお蔭と心より厚く御礼申し上げます。

昨今、医療にとどまらず一般企業でも“地域密着”という言葉が標榜するところが多いように思います。実際に、この“地域密着”とは一体何を指して言っているのでしょうか。

私たちは、業務心得として患者さまに満足していただく事を第一に掲げておりますが、最近になり、患者さまからスタッフの対応へも評価を頂けるようになりました。この評価を常に保ち、地域の頼れる病院でありたいというのはもちろんですが、「頼れる病院＝地域密着型の病院」とは言及できなくなってきていると思います。つまり“地域密着”とは地域の皆さまにここに病院があって良かったと、選んでいただける病院、地域の皆さまとの交流のある発信型の病院であると考えます。

灘区はここ数年、人口が毎年1,000人程度増加してきております。人口構成も25～44歳が全市平均より多くなってきております(平成22年10月現在)。灘区のイメージは『住みやすい街：94%』と平成16年度より6ポイントアップしています。その他、『安全・安心な町』『子育てがしやすい町』という事で非常に注目もされています。2016年にはJRに新駅『まや駅』(仮称)もで

き、それと同時に大規模マンションの建設計画もあります。灘区が今後5年間で取り組むべき重点施策で最も期待度が高いのが、『医療・保健の充実』だそうです。

当院では現在、『健康教室』や『まちの保健室』など予防医学の観点から、そして通所介護事業所(デイサービス)・地域包括支援センター(あんしんすこやかセンター)・居宅介護支援事業所による介護の観点から地域住民の皆さまと交流を深めさせていただいており、今後もますます発信できる医療・介護を目指して参りたいと考えます。また、10月2日の都賀川の清掃の参加など、住みよい街をみんなで作るという、地域住民の方々と同じ目線を持てる病院として地域事業の参加も取り組んで参りたいと思います。

安心、安全の街づくりの共有意識が、これからの地域密着医療に大きな役割を果たしてくると思います。



統括本部長  
金澤 秀市郎

## 主な記事

- ・統括本部長 挨拶 1
- ・新入職医師のご紹介 2
- ・健康教室 2
- ・放射線科専門医とは 3
- ・内科第二診察室より 4
- ・看護部だより 5
- ・金沢病院案内 6

## 【金沢病院基本方針】

1. 患者様をいつも第一に考え温かく真心を込めて接します。
2. 地域と密着し、質の高い、より良い医療を継続して提供します。
3. 向上心と誇りを持ち、互いに敬愛して努められる職場を作ります。

## 新入職医師のご紹介

平成23年4月より、整形外科 張医師、放射線科 金澤 秀次医師が入職しましたので、ご紹介いたします。



整形外科医 張 鍾穎  
ちよう しゅうえい

整形外科では急性外傷は勿論のこと、腰痛・膝痛・肩こり・坐骨神経痛や手足のしびれといった慢性的な症状に対する治療も行っています。また、骨粗鬆症、関節リウマチやスポーツ障害の治療も行っています。患者さまの症状の程度に応じて外来で日常生活指導、投薬、ブロック注射やリハビリ等を行い症状の改善を図ります。また、日常生活が難しい場合や手術が必要な場合には入院治療も行います。来院された患者さまの体と心の苦痛を少しでも和らげられるよう、日々の診療に取り組んで参ります。まずはお気軽にご相談ください。



放射線科医 金澤 秀次  
かなざわ しゅうじ

今年4月より、常勤医として勤務することになりました放射線科の金澤秀次です。画像診断（X線、CT、PET、MRIの読影）を中心に 大学病院で平成14年～平成22年まで学んできました。又、リザーバー留置をはじめとしたIVRの経験も積んできました。当院では画像診断を中心に、一般内科外来、救急外来を行っていきます。又、X-P、CT検査をご依頼頂きました患者様に対しましては、早期に返答する事が可能となるとともに、従来の鎖骨下、鼠径部だけでなく、上腕留置型の中心静脈ポートの作成も可能となりました。地域と密着した質の高い医療を提供したく思っておりますので、宜しくお願い致します。

## 健康教室

今回は5月11日(木)に、当院放射線科 金澤 秀次 医師により「放射線について」を開催しました。

本年、3月11日に発生した「東日本大震災」を契機に起きた、福島第一原子力発電所の事故による放射能の飛散や環境・人体への影響を知るのに、マスコミの発表等のみで漠然とした不安を感じていましたが、解りやすく説明してもらったことで、安心と言えないまでも少し理解していただけたのではないのでしょうか。



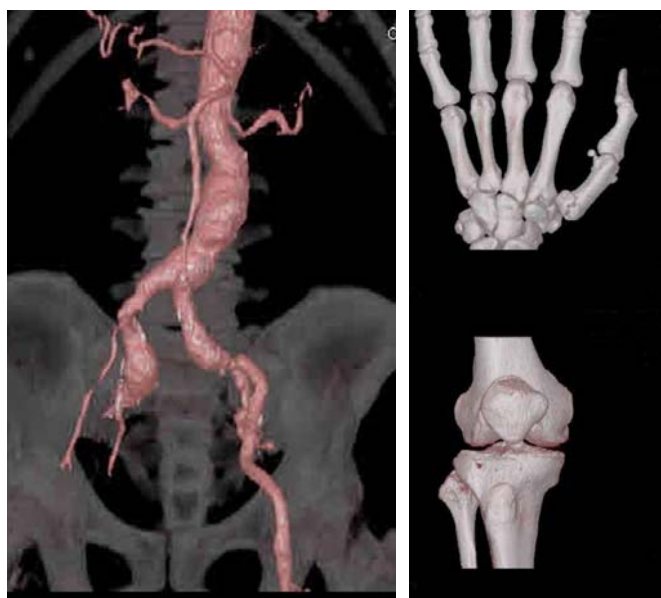
当日は、あいにくの雨でしたが、一般の方々をはじめ 灘消防署の職員の方々も多数参加され、大変なにぎわいとなりました、ありがとうございました。

## 放射線科専門医とは

今日の医療現場において、画像診断は基本的かつ欠かすことのできないものとなっています。その臨床的重要性は日々増えています。画像検査は、どの診療科でも行われる検査であり、この画像診断を専門で行っているのが「放射線科専門医」なのです。TVの医療番組や情報番組などで「放射線科専門医」という言葉を聞かれる事が多いのではないのでしょうか？当病院では、「放射線科専門医」が常勤医として勤務しておりますので、その業務内容についてご紹介いたします。

一般的に、「放射線科」の業務とは、CT・MRI・レントゲンなどの画像診断を行うことやIVR（血管内治療）を行うこと、放射線を用いたガンの治療などを行っています。

（※「放射線科専門医」は、「画像診断専門医」と「放射線治療専門医」に分かれます。）



現在、CT・MRIを導入している病院は数多くありますが、「放射線科専門医」が常勤で勤務している病院は大変少ない状況です。以下をご覧ください。

CT・MRIの台数を諸外国と比較すると

◇CT設置台数（対人口百万）

日本：92.6台

米国：32.2台

英国：7.5台

仏国：7.5台

◇MRI設置台数（対人口百万）

日本：40.1台

米国：26.6台

英国：5.1台

仏国：4.7台

日本では、CT・MRIの設置台数が非常に多く、手軽に検査を受けることができます。

（OECD Health Data 2007 資料より）

しかし、「放射線科専門医」の数はCT・MRIの台数に比べると大変少なく、装置1台あたり0.28名（世界平均3.3名）しかいないのが現状で、CT・MRIの画像を専門に診断する「放射線科専門医」は不足しています。



CT・MRI・レントゲンの画像診断を適切に行うことにより

◇病状の原因究明

◇疾病の早期発見と程度の把握

◇治療の早期計画

◇治療効果の判定

などが行え、他科の医師との連携を組み、適切な治療を行えます。

当院におきましては、CT・レントゲンを設置しており、「放射線科専門医」の至急読影等に対応できます。

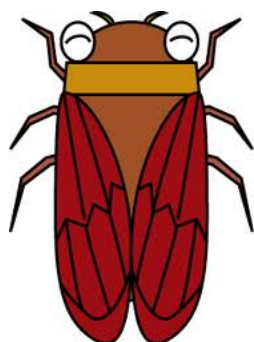


## 内科第二診察室より「虫の知らせ」

「閑さや 岩にしみ入る 蝉の声」（松尾芭蕉）などという様な風流を、全く感じさせない我が物顔のくま蝉の鳴き声と、まとい付く様な熱気をやっと振り払ってたどり着いた医局。節電対策とのことで、去年と違い生暖かい気の抜けたビールのような温度設定ではありますが、何とかたどり着きほっとひと安心。となる予定でしたが、「飛んで火にいる夏の虫」とばかりに、虫も殺さぬ顔の編集長がのたまう鶴の一声。締切が……。こんな猛暑の最中に、秋発行のコラムに涼しげな文章を書け、なんてそれはあまりに殺生。などとは顔に出しても言葉に出さず、蝉のごとく飛んでゆきたい。「真夏の夜の夢」であってほしい。などと朝から早くも現実逃避気味。

さて先ほどより登場の蝉ですが、日本においては「空蝉」などの言葉に象徴されるように儚い存在として描かれることが多いようです。幼虫としての何年もの地下生活ののち、地上に出て羽化し短い一生を終える。「1週間程度の命だからそっとしておきなさい」などと子供の頃にいわれた記憶がありますが、最近実際は2～3週、あるいは1カ月程度成虫として生きると知らされ驚かされました。

前置きが長くなりましたが、この地下生活時代の幼虫はほとんど動かず、成長に必要なアミノ酸を摂取するのに対し、飛び回ったり鳴いたりする成虫は大量のエネルギーを必要とし、それを糖分として摂取することです。幼虫期には糖分を摂取しすぎると分泌物に糖分が出るため、生活環境が悪化するということです。これは我々人間においても同じですね。生命維持のためには その時に応じ



た適切なカロリー、栄養バランスが必要になるわけです。やっぱり節食して減量せにゃ！と改めて認識させられます。逆に何でもかんでも食事制限というのも「夏虫疑氷」というわけですね。ちょっと「我田引水」で虫が

ちなみに高田医師は、  
10?kgだそうです。

虫も殺さぬ編集長より



いずれにせよ、やっぱり早朝からの蝉しぐれは、締切直前のひっきりなしの催促があるという「虫の知らせ」だったわけでしょうか。鈴虫の心地よい音色で安眠できる日を祈って稿を終わらせていただきます。

副院長  
高田 耕二



## 看護部だより

### ふれあい看護体験2011

看護の日（5月12日）のイベントとして、毎年全国各地でふれあい看護体験が行われています。当院は毎年8月に行っており、今年で10年目になります。直接患者さんとふれあう事により看護する事や人の命について理解し、関心を深める機会を提供することを目的としております。

#### ●体験学習の感想

「どの看護師さんも、とても優しく明るかった」  
 「看護師さんが病室に入ると、空気がパッと明るくなった気がした」  
 「看護師さんの仕事は思っていたより大変だったけど、やりがいのある仕事だと思った」  
 「患者さんに元気をあげたり、その家族の不安も取り除くことができる看護師になりたい」  
 「笑顔を絶やさず 正確な仕事の出来る看護師になって～毎日楽しい～ と考える患者さんを増やせるようになりたい」



#### ●担当者の感想

1日だけでしたが 爽やかな風が吹き抜けました！！  
 全員看護師を目指しているだけあって、目が輝いていました。  
 あなたたちの「～たい」は夢でなくてすでに目標です。  
 何年か先には 素敵な笑顔の看護師さんの誕生です！！



### 七夕の笹に願いを込めて

平成23年7月7日 毎年 1階フロアーと各病棟に短冊がゆれます。

「歩けるようになりますように」  
 「早く退院できますように」  
 「お父さん元気になってね」  
 「おばあちゃん早く良くなってね」

あいにくの雨でしたが、願いはきっと届いていますよ！！



### 編集後記

暑い暑いと言ってる間に、9月になってしまいました。「かなざわ通信 第2号」の内容は如何でしたでしょうか？

少しずつでも、皆様のお役に立てる記事を増やしていきますので、これからも ご愛読の程よろしくお祈いします。

情報管理課 稲次 雅英

## 診療科目

内科、胃腸科、循環器科、外科、整形外科、脳神経外科、  
放射線科、眼科、心療内科、リハビリテーション科  
(人間ドック、健康診断)

## 診療案内

### 受付・診療時間

- 平日 09:00～13:00  
14:00～17:15
- 土曜日 09:00～13:00  
※受付は、診療終了時間の  
15分前までとなっております

### 休診日

- 日曜、祝祭日 および  
年末年始(12月30日～1月3日)

## 交通のご案内

### 電車

- JR「六甲道」駅より徒歩10分
- 阪急「王子公園」駅・「六甲」駅より  
徒歩10分
- 阪神「大石」駅より徒歩10分

### バス

- JR・阪急・阪神「三宮」駅より、石屋川車庫前行90、92系統乗車 約20分  
「将軍通」バス停下車すぐ



## 関連施設

● 金沢クリニック  
〒650-0001 神戸市中央区加納町 6丁目6番1号 金沢三宮ビル 10・11階  
TEL : (078)331-0743~4  
FAX : (078)331-0745  
ホームページ : <http://www.kanazawaclinic.jp/>

- 通所介護デイサービスセンターかなざわ TEL : (078)871-9076 FAX : (078)805-0234
  - かなざわあんしんすこやかセンター TEL : (078)871-9015 FAX : (078)871-9100
  - 指定居宅介護支援事業所かなざわ TEL : (078)871-9016 FAX : (078)805-0250
- 〒657-0057 神戸市灘区神ノ木通 3丁目6番18号

## 病院住所

### 医療法人 愛和会 **金沢病院**

〒657-0057 神戸市灘区神ノ木通 4丁目2番15号  
TEL : (078)871-9001~4  
FAX : (078)871-2993  
ホームページ : <http://www.kanazawa-hospital.jp/>